

# More Vision More Success

## <はじめに>

1949 年、戦後の混沌とした時代背景の中、「新日本の再建は我々青年の仕事である」という志のもと、日本の青年会議所運動が始まりました。この日本青年会議所の設立理念は、現在も「明るい豊かな社会の実現」という究極の理念として位置づけられています。そしてこの理念に志を同じくした鹿角青年会議所は全国で 726 番目として発足されました。創始の思いは、「光、東奥にあり 若き獅子達今いつる時」のスローガンのもとスタートし、強いリーダーシップを発揮することでこのまちの輝く未来へ向けた活動や運動を展開してきました。社会課題解決に 40 年取り組んできた私たちだからこそ、地域社会の先駆けとして運動をおこし、今まで以上にステークホルダーとの連携を強固にしつつ、変化の大きい社会に対応する装置をつくりたいと考え、記念すべき 40 周年の年に理事長の職をお預かりする決意をいたしました。

## <人生の転機>

私には人生の目的を考える機転となった時代があります。私は自動車整備工場の 5 代目です。創業 95 年を迎えることとなりましたが、決して順風満帆な人生ではありませんでした。私が進路を家業への道と決めた 18 歳の時に祖父、専門学校へ進んだ 19 歳に父と立て続けに病に倒れ帰らぬ人となりました。それまでは存在を考えたこともなかったのに、それから目標を無くしたような感覚でしばらく腑抜けた生活を送っていました。今思えば、これがやらなければならないことなんだと、家業を継いで父と働くことがゴールになっていたのかもしれない。自分には何も言わない父でしたが、信頼して見守ってくれていたのだと自分が父親になって分かったような気がします。

それから 20 歳の成人式、成人代表で挨拶をする機会をいただいたことがありました。私のメッセージは「不安になったり道に迷ったらここに集まった仲間を思い出そう」と伝えました。個性を認め合い素晴らしい学年だと思っていたのですが、その後の年祝までに自ら命を絶ってしまった友人が数名いました。何もできなかった自分に悔しい気持ちでいっぱいでした。だからこそ、私はみんなが安心して暮らせる社会をつくりたい。希望をもって暮らせる社会をつくりたい。あなたには素晴らしい価値があるよと認め合える社会をつくりたいのです。

### <JC独自のまちのビジョンをつくる>

私は、メンバーや地域の方々と力を合わせ、「まちの中期ビジョン」を共に構築したいと考えています。どのまちにも、行政が策定する総合計画と呼ばれる、政策や予算の骨格となるビジョンがありますが、若者の目線が必ずしも取り入れられているとは限らず、まちの発展に必要な政策が網羅されているとも限りません。

だからこそ、まず、その総合計画等のビジョンが、まちの持続的な繁栄に貢献するものか検証し、その結果、不足や改善点があれば、次代に責任をもつ私たちこそがビジョンをつくらなければなりません。もし、既にそれが素晴らしいものであれば、より良くすることもできるでしょう。そこで我々が、故郷をより良く変え続けるための、独自のまちの北極星を、生み出していきます。5年後、10年後のありたいまちの姿を想像し、今と比べて増えてほしいものは何か、減ってほしいものは何か、変わらずにあってほしいものは何か。そのひとり一人の意見を集め共感できる中長期ビジョンへと繋げます。大きな変化の時代にそれでも進み続けるためには、ぶれずに進んでいくための目印が大切で、大変でも進んで行くための原動力の元となります。

そして、その独自の中期ビジョンをもとに、単年度の運動を企画し、まちに広く深いインパクトを与えられるようにしていきます。そのような運動が継続できれば、いずれは、独自のビジョンが、行政が策定するビジョンにも影響を与え、このまちの繁栄のみならず組織の発展にも貢献するでしょう。今こそ、私たち青年の知恵と情熱をもって、より良い故郷と鹿角の未来を描きましょう。

### <子どもは社会の宝>

私は、子どもを産み育てたくなる社会をつくることで、未来の地域と日本を守りたいと考えています。

新型コロナウイルスの蔓延は、日本経済に大きなダメージを与えるにとどまらず、少子化の急加速をも引き起こしています。鹿角市の人口流動調査によると、2021年の出生数は過去最小の118人となりました。想定を遥かに上回って進む少子化は人口減少のペースを速め、地域社会に大きなダメージを与えることになるでしょう。これは、我がまちの存続にも関わる重大な社会課題です。現在、JCは「子供を生み育てたい社会」をつくることを目的に、企業や行政等と連携しベビーファースト運動を展開することで、社会に大きな潮流を生み出しつつあります。私たちは、この流れをより確実なものとしなければなりません。未来を担う子どもたちが豊かに育ち、これから生まれてくる大切な命を大切にす社会を地域一丸となって目指し、機運を醸成する必要があります。一人ひとりの愛を地域に広げていきましょう。

### <地域のリーダー育成>

メンバーの成長とリーダーシップがまちをより良くするために動いた時、地域社会での連鎖が生まれ、明るい未来が見えてくると考えます。JCでは、JCプログラムや出向制度によりリーダーシップの開発と成長の機会を提供しています。情報があふれ「やり方」ばかり問われる時代になりました。大切なのは手法ではなくその先の夢であったり目標であり、それらをかなえるために、

これから入会する人も今いるメンバーも、有意義に JC を活用してほしいのです。誰のために何のためになぜ我々は存在するのか、土台からの一貫性を通し、より豊かな人生のために JC を通して自己実現を叶え、地域のリーダーとして活躍して欲しいと願っています。

<記念事業を変革の起点に>

私たち鹿角青年会議所は、今年度 40 周年を迎えます。量的から質的な価値を求められている社会で、単年度を超えた社会の大きな潮流を見極め、その潮目を変えるきっかけが必要です。JC が持っている地域の連携を生み出す能力を生かし、ステークホルダーと共に新しい時代を作り上げていくために、今よりもっと素敵なワクワクする未来へ一歩踏み出す起点となる事業を行います。

<おわりに>

最後に、全ての想いを込めて、本年度のスローガンを More Vision MoreSuccess としました。私にはもっとできる、私にはもっと人の役に立てる力があると自分の本当の価値に気が付いたとき、人は未来に向けて明るいビジョンをもつ動機が生まれるのです。そして志や夢を育んでいく土台となります。マイナスな思い込みを払拭して一人ひとりが夢を描き、共感を生み出し、鹿角の新時代を切り拓いていきましょう。紡いできた歴史を糧に未来を築くために私たちは覚悟を決め、輝く個性が調和する、明るい豊かな社会の実現に向けて着実に取り組んでいきます。